

大石地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 26 年 11 月 30 日（日）13 時 00 分～14 時 00 分
- 場所 大石地域交流センター
- 次第

1. 市長からの挨拶
2. これまでの経緯
3. 聞き取り調査後の意見集約結果
4. 前回提示した道路整備案の詳細図について
5. 事業実施スケジュールについて
6. 意見交換

事業実施スケジュール(案)の道路工事について、完成時期は？

→ 現時点から約 2 年半の平成 29 年 3 月に完了する予定です。

用地交渉はスムーズにいきそうか？地権者は何人くらいか？

→ 地権者は約 40 名いますが、大石のまちに住んでいる方だけでなく、大石以外の市内・市外・県外の方もいます。全員から了解をいただいているわけではありませんが、今後とも誠意を持って相談させていただきます。

起工承諾をとることで工期を早くすることはできないか？

→ 埋蔵文化財もあるため、起工承諾をいただいてもすぐに工事に入れるわけではありません。今回お示ししたスケジュールが最短のものとなります。

埋蔵文化財調査はいくらぐらいの費用がかかっているのか？どうしても調査が必要なのか？

→ 現時点で、約 2～3 千万円の費用がかかっているかと思います。今後も調査は必要であり、重要文化財が掘り出されれば、工期も伸びます。重要文化財は次世代に継承していくものとして保存が必要です。また、調査は義務であり、官公庁だけでなく民間の工事でも同じであることを御理解いただきたいです。

埋蔵文化財調査の実施主体は市か、県か？

(市長) 県から市が受託して調査を進めています。

埋蔵文化財調査は道路事業で行っているのか？

(市長) 道路事業とは別で、復興交付金事業で実施しています。

(副市長) 青森県の三内丸山遺跡のように大事なものが発見される場合があります。工事を始める前に必ず、文化財の調査を行う必要がありますので御理解ください。

屋形からの道路(海岸道路)は、整備しないのか？

→ 津波の来ないところで道路整備を行う必要があるため、海岸沿いの道路はそのままです。

自分の家に近い方に逃げるため、海岸道路を使うと思う。

まちなかの市道は整備しないのか？

→ 本事業における道路はできるだけ早く高いところに逃げるための道路(避難路)として整備するものです。

(市長) 逃げるルートが多くあった方がいいとの考えです。

(市長) まちなかの市道の拡幅は、復興交付金事業ではないため、すぐには対応することは厳しいです。

→ 避難路を使って出来るだけ早く高いところに逃げてください。家も大事ですが、命を大事にしてほしいです。

地域会議で次の要望を出した。1 集会所の増築要望を出した。2 昭和48年旧バス停の側溝がつまるので蓋かけを要望した。3 墓地までの道路を整備要求したができないとの回答のため、その後、住民で整備をした。4 災害公営住宅の周辺に街灯の要望を出したが、できないとの回答のため、その後、地域で整備をした。

(市長) 集会所の増築については、支援団体に今後も当たってみます。その他については、来年度以降も時期をみて頑張っていきます。

(副市長) 大石地区は、防潮堤は整備しないため、早く高台の避難場所に逃げる事ができる避難路を早く整備していきたいです。

(町内会長) 休日のところありがとうございます。避難路の整備については、地主さんの協力をいただいて進めてほしいです。

(市長) 本計画について、本日の復興まちづくり協議会・地権者連絡会で合意をいただきましたので、できるだけ早く整備します。ありがとうございました。

以上